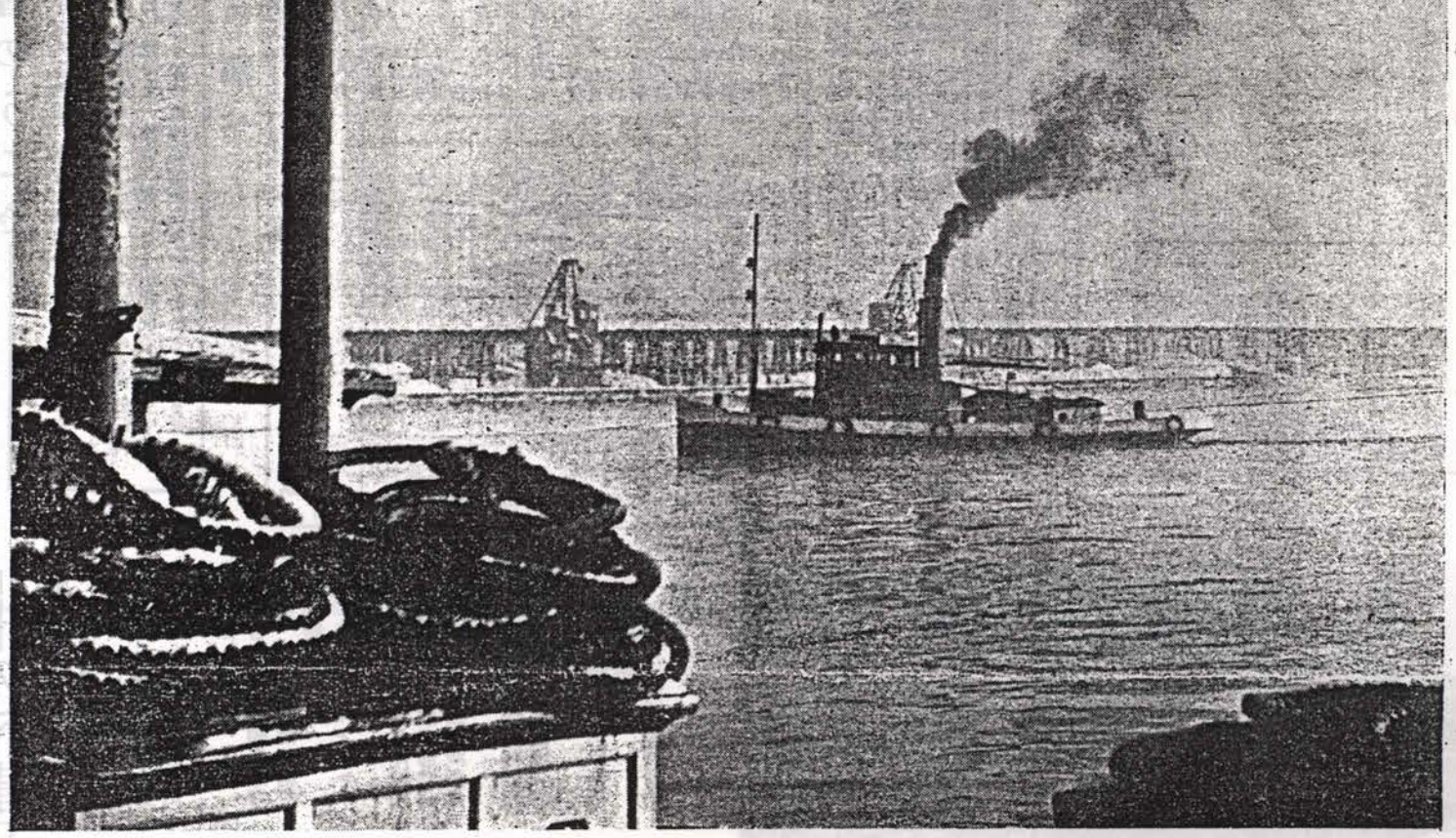
元日

廣報 るもい

發行所
留萌市役所
電話（代）270番
編集人
總務課長 田邊勝郎
留萌市幸町三丁目
印刷所 金子印刷所
（毎月1回 1日發行）

謹賀新年



「留萌港にて」（阿部清晴氏提供）

年頭のことば

留萌市長 橋本作市

きなる市民の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様と共に、清新の氣みなぎる昭和三十二年の新春を迎えることができましたことは、私の心から喜びとするところであります。

昨年本州におきましては一昨年に引続き農作物の大豊作に惠まれ、又國外關係としては、日ソ国交の回復國際連合への加盟等國際善隣關係が回復せられ、日本が眞の民主国家として、世界平和への道を推進する機運にたち至りましたことはまことに慶賀に堪えない次第でありますが、ひるがえって、わが留萌にとりまして、昭和三十一年は眞に苦難の連続の年でありました。

中小企業を中心とした一般經濟界の不振に加えて、春にしんは開基以來の凶漁に終り、更に又農作物は、未曾有の冷害凶作に見舞われ、産業、民生は勿論、市財政等に極めて深刻な事態を招來するに至りました。

しかしながら、市民各位におかれましては、よく愛市精神に燃えて、自力復興のため努力されたことに対しまして、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

市としましては、凶漁対策として、漁業者生活の維持安定のため、これに即應した種々の施策を実施し、漁業經営の改善、自立化促進を講じました外、特に年來の懸案であった雨漁協組の統合をみましたことは、關係各位の深い御理解と、絶大なる御協力によるものでありまして、眞に感謝に堪えないところであります。

また、國連加盟が正式に承認されて国際社会へ復帰できたことは、わが国の前途にとって誠に明るい希望を感じた次第であります。

御承知のとおり、わが留萌市にとりましては一昨年に引続く最大のにしん不漁と、かてて加えて北海道全域にわたる大凶作に見舞われるという、誠に苦難に満ちた年でございました。

しかし、この苦難を乗り切って生きる皆様方の力強い姿をみるとき、私共は、市勢の進展に対し大なる勇氣が湧き上るのを感じます。

本年は、留萌市の開基八十周年、市制施行十周年に当る誠に意義深い年であります。市の重要懸案事項はそれぞれ着実に、確実に実を結びつつあり、今年こそは一大飛躍を成し遂げるべく、私共は努力いたしたいと存じます。

もはや戦後ではないと言われておりますが、元旦のきょう、私共は過去十年のあゆみを敬けんに反省してみたいのであります。

港湾、河川の整備改修、文教施設の整備擴充等いずれも容易ならぬ困難な問題に加えまして、特に本年は、市民經済の窮狀を打開し、その前途を明るい希望に輝やくものたらしめるため、市勢振興第二次五ヵ年計画を強力に推進すべく、固い決意の下に、職員の綱紀を厳正にして、能率的、明朗闊達な民主的市政の実現を期したいと念願しております。

市營總合グランドの造成、小学校の増改築等市民各位の御協力により実現をみました外、かねてより折衝を進めている工場誘致問題が決定し、実現をみることになりましたことは、眞に御同慶に堪えないところであります。

更に又市としましては、今後なすべき幾多の重要案件が山積しております。健全財政の確立、企業の誘致カド松に飾る青竹をみますと節がございますが、何事もそれと同様、一つの節から次の發展を推し進める出發点として、きょうの元旦を心から祝いたいのであります。

今年は、東の空に昇らんとする太陽に先がけて、新しい躍進の時を報ずるトリ年でございます。

留萌市民の皆さん!! 今年こそは凶漁、凶作の暗い嘆きを捨てて元氣で進もうではありませんか。

新春を迎えて

留萌市議會議長 道重雄

内外を問わず誠に多事多難でございまして、非常に緊張した國際情勢の中に、わが国におきましては、日ソの國交回復、あるいは日中貿易の再開、國土返還問題等、多少の不満を残しながらも実現を見出し、更に

をきめたり 税金を集めること、地代や家賃の類をきめること。固定資産税は審査委員会に諮す

仕事をするところです。

税務課では、青山課長ほ

◇ 一金参千圓 留萌市佛教会

◇ 百五拾圓 わり人形劇

んのよい子たち）

て幾分でも肩の荷がおりるような気がします。

皆様で私達もやうな物でも出しへ

めて買うことになりの人の家に行き古本

コを嫌にせい…アイヌもそうだがメノコなどはとも単純でしかも我慢強はしよって流に入り船を陸へ上げる作業をしますがこんな事はとても和人女にはできません。